

1 単元 天下統一をめざした3人の武将 ～戦国の世はどう統一されたのか～ (6/8)

2 単元の目標

- (1) 3人の武将の行動や考え、業績などに関心を持ち、教科書、年表、資料を活用して進んで調べる。(関心・意欲・態度)
- (2) 戦国の世がしたいに統一されていった様子を3人の果たした役割と関連づけながら考えることができる。(思考・判断)
- (3) 本などの資料から読み取ったことを自分なりの考えを入れながらまとめたり、話し合ったりすることができる。(観察・資料活用)
- (4) 調べたことや話し合ったことをもとに、前の時代との大きな変化や戦国の世が全国統一されていく様子がわかる。(知識・理解)

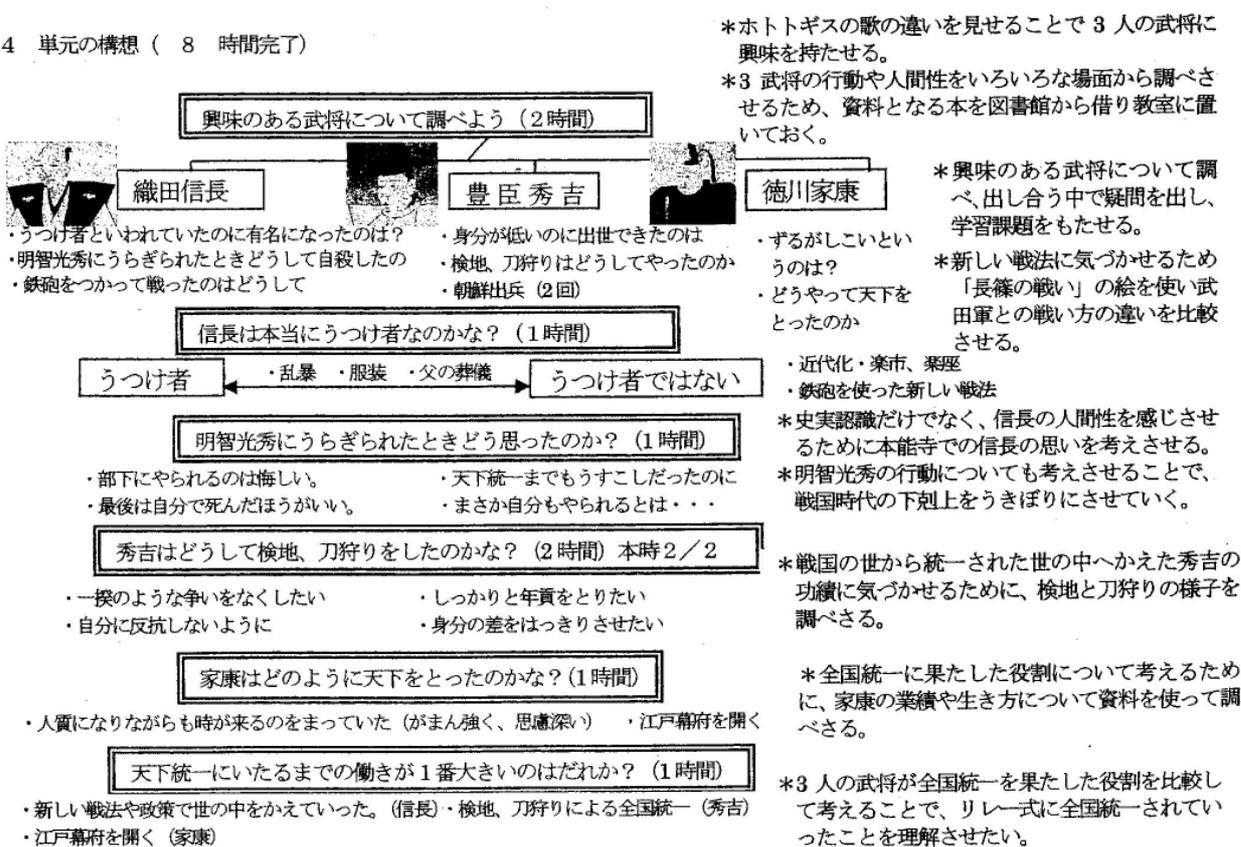
3 授業にあたって

歴史の学習における子供たちの取り組みは、興味関心の度合いは異なっているものの自分で調べようという姿勢は育ってきている。調べたことから自分の考えをまとめるように指導しているが、まだそのまま書きうつすことが精いっぱいの子も見られる。話し合いでも、資料に書いてある通り話したり、自分の予想だけで話をしたりするのではなく、根拠となる資料をもとに自分の考えを話すように個々に支援をしてきている。自分が選んだ資料から読み取ったことを話したり、友だちの意見を聞いて考えが変わったりすることで歴史の学習が楽しくなっている子が見られるようになってきた。さらに広い視野から社会的事象の意味を考える力を育てていきたい。

本単元は、「長篠の戦いや戦国の世の統一に関心を持ち、天下統一を進めた信長、天下統一をなしたとげた秀吉、全国支配を固めた家康について調べ、戦国の世が統一されたことがわかり、国の歴史や先人の働きについて理解と関心を深めるようにする」ことをねらいとしている。この3人の武将については、NHKの大河ドラマや本で見たり、聞いたりして、ほとんどの子がそれぞれの生き方や戦い方、どんな事をしたかななどに興味を示している。

そこで、学習の導入として春の遠足で実際に見てきた鉄砲や馬防作、長篠の戦いの合戦図、3人の武将の年表を活用し、子供たちの気づきや疑問、感想などを話し合わせることで徐々にイメージを膨らませていきたい。また、子供たちに既存している断片的な知識を取り入れ、それらの知識を系統立てていくことで学習内容を身近に感じさせ、意欲を喚起していきたい。学習の進め方としては、3人の武将については、一人一人の「知りたい」「調べたい」という思いを大切に、調べたことを出し合う中で疑問を出させ、学習課題をつくっていく。また、調べたことをもとに話し合い、下剋上について理解させるとともに、どの武将も英雄ではあっても、支配者的な存在であったこともおさえておきたい。その上でまとめとして3武将の中で、「全国統一に至るまでの功績が最も大きかったのは誰か」というテーマで討論させる学習活動を設定することでより理解を深めさせ、知識の定着を図りたい。

4 単元の構想 ( 8 時間完了)



5 本時の学習

(1) 目標

・検地、刀狩りについて調べたことを話し合うことで、戦国の世から全国統一へ向けた秀吉の役割についてわかる。(思考・判断)

(2) 本時の指導

農民に対して年貢の取り立てと反抗できないように刀を取りあげた秀吉の厳しさに気づくことができたところで、「秀吉は農民出身なのになぜそんなことをしたのか」と投げかけ、自分が天下統一をするため、反抗をなくしたり、下克上の世の中をなくそうとしたりした行動へと気づかせていきたい。

(3) 準備 ・教師・・・検地、刀狩りの絵、検地命令書 ・児童・・・調べプリント

(4) 学習過程

(時間)	学習の流れ	教師の支援	☆評価(観点)
------	-------	-------	---------

